

第2-4回

(2014. 10. 8,
2014. 10. 15,
2014. 10. 22)

分類の一般概念と分類理論

黒橋 禎夫教授 (情報学研究科)

【第2回 講義】 2014/10/8 学術情報メディアセンター203 出席者 21名

配布資料：講義資料（パワーポイントスライド）、はてなブックマークの登録方法

導 入：自然言語処理（言葉とコンピュータ）

情報の分類と組織化：「分類は知のはじまり」物事を体系化することで全体を把握

LATCH（5つの整理棚：Location, Alphabet, Time, Category, Hierarchy）

分類の演習：各自で14個の単語を分類してみる→（解答）階層構造を持つ

「分類は、視点・観点によって異なる」

分類の諸問題：ウィトゲンシュタインの家族的類似性

言葉、文化との関係

オーバーゼーニング

動植物の分類：アリストテレス/人為分類、リンネ/階層のカテゴリ、アダンソン/類型分類、

ラマルク/系統分類

数量分類学：特徴ベクトル（属性の束）で個体を表現→類似度をもとにクラスター分析

図書の分類：図書館の歴史の変遷とともに体系的な分類が行われるようになった。

書架分類・書誌分類。

十進分類法（デューイ、国際、日本）、コロソ分類法（主題+ファセット）

ことばの分類：シソーラス（語の上位下位、同義関係などを体系的に整理）

情報検索：テキストの特徴ベクトル表現→類似度計算により文書検索

検索エンジン/クローラーが収集した文書を全文検索。

精度向上のためPageRankやアンカーテキストを利用。

情報推薦：特徴ベクトル・行列→ユーザ間の類似度計算

フォークソノミー：共同作業による分類。ウェブ上の情報へのタグ付け。

ソーシャルブックマーク、写真・動画共有サイト

*講義のおわりに黒橋先生より分類担当補助者の紹介があり、それぞれ自己紹介を行った。

その際、補助者から、次週までにはてなブックマークを登録しておくようアナウンスした。

【第3回 演習1】 2014/10/15 学術情報メディアセンター203 出席者 17名

配布資料：演習課題A・B説明資料（パワーポイントスライド）、

演習ページへの掲載：演習課題、解答用紙

時間配分： 14:45-14:50 PC接続・はてなアカウント取得アナウンス等

14:50-15:10 分類について

15:10-15:30 課題A解答

15:30-15:50 フォークソノミーについて

15:50-16:10 課題B解答

16:10-16:15 次回会場説明等

課題 A

下記 4 つのテーマから 2 つを選択し、以下の課題に答えてください。

○テーマ

- ・ 京都の祭りの文化
- ・ 地球温暖化のメカニズムと対策
- ・ ヒトの進化
- ・ スポーツと政治

A-1

- ・ 選択したテーマに関連するキーワードを、それぞれにつき 2 つ挙げてください。
- ・ キーワードのどちらか、または両方を使って KULINE の詳細検索画面から検索し、それらをタイトルに含む図書を 1 冊ずつ選び、その図書の書名と NDC（日本十進分類法）の分類番号 3 桁を答えてください。

A-2

NDC 分類表をもとに、選択したテーマについて資料探索する際に有効と思われる NDC 分類番号 3 桁を、それぞれ考えられる限り複数挙げてください。

A-3

A-2 で挙げた NDC 分類番号 3 桁を用いて KULINE で分類検索を行い、書名に A-1 で挙げたキーワードを含まないが、各テーマについて調べるのに役立つような図書を 1 冊ずつ答えてください。
必要に応じて、分類検索に加えて、件名による絞込み検索を使って図書を絞り込んでください。

A-4

KULINE の分類検索を使うことの利点や欠点を述べてください。

課題 B

B-1

京都大学ホームページに掲載されている研究成果のうち、2014 年 8 月付の記事から自分の興味のあるものを 3 つ選び、それぞれのページにタグとコメントを付けてはてなブックマークに登録してください。その際、タグは必ず複数付けてください。

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/research_results/

京都大学ホーム > 研究・産官学連携 > 研究成果

B-2

B-1 でブックマークしたページに他のユーザが付けたタグを確認し、自分の付けたタグと違うものがあれば、どのような点に違いがあるか具体例を挙げて、相違点を述べてください。（例：日本語と英語の違い、植物とコムギなどの階層の違い、など）。
選択しているのが自分だけだった場合は、自分の考えたタグの工夫した点を答えてください。

B-3

B-1 でブックマークした記事の中から 1 つ選択してください。
自分が記事に付けたタグと同じタグが付けられているページを全体のブックマークから検索し、記事の内容に関連したページを 3 つブックマークしてください。
同じタグが付けられているページがない場合は、選択した記事に他の利用者によって付けられたタグで

同様に検索し、記事の内容に関連したページを3つブックマークしてください。

B-4

フォークソノミーのメリット、デメリットについて、図書分類法やカテゴリ検索のような、あらかじめ作成された既存の分類体系に基づく情報検索と比較しながら考察してください。

【第4回 演習2】 2014/10/22 附属図書館ライブラリーホール 出席者 16名

配布資料：課題C説明資料（パワーポイントスライド）、アンケート
グループワーク問題用紙・解答用紙、分類表（各グループに1部ずつ）

演習ページへの掲載：演習課題、課題C-5・6の解答用紙

時間配分： 14:45-14:50 集合待機
14:50-15:05 NDLC・附属図書館書架について
15:05-15:10 グループ分け
15:10-15:45 グループワーク（課題C-1～C-3）
15:45-16:05 発表
16:05-16:10 コメント記入（課題C-4）
16:10-16:15 アンケート等

課題C

C-1

選択したテーマについて調べるのに有効と思われるNDLC（国立国会図書館分類法）分類番号を考えられる限り挙げてください。

※分類番号は解答例を参考に、「アルファベット+数字」で答えてください。
数字の区分に当てはまるものが無ければ、アルファベットだけでも構いません。

C-2

C-1で挙げたNDLC分類番号の中で特に有効そうなものをいくつか選び、その分類番号の棚をブラウジングし、役立ちそうな図書を3冊挙げてください。

C-3

附属図書館の配架方法でもあるNDLCと、NDC（日本十進分類法）を見比べて、
テーマにおけるそれぞれの分類体系の特徴等を比較して簡単にまとめてください。
(ポイント)

- ・テーマの分類番号の前後やその周辺にはどのようなものが分類されているか
- ・分類全体を見て、選択したテーマ（分野）はどの位置づけられているか
- ・テーマ（分野）の探しやすさ

C-4

他の班の発表を聞いて、気付いたことや感じたことを簡潔にまとめてください。

【個人提出課題】個人でメール提出（解答用紙（word）をダウンロードして記入すること）

C-5.

資料探索における図書分類法の活用の意義と留意点について、ブラウジングの効果に触れて、意見を述

べてください。

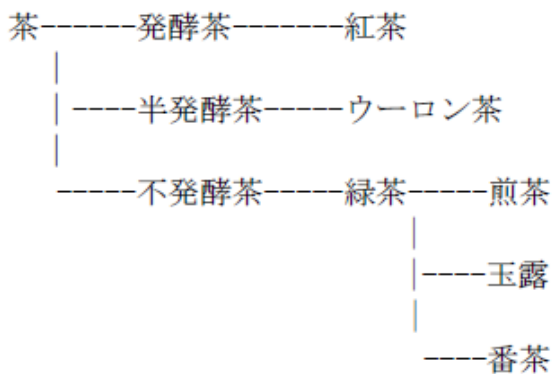
C-6

[課題A] のテーマの中から1つを選び、そのテーマに関連する事項について、自分なりの分類を提案してください。NDCやNDLCを参考にして、できるだけユニークな分類体系を考えてみましょう。

※グループのテーマとは違うテーマでも構いません。

※分類体系の表し方は自由です。Word機能の表や図形を使っても構いません。

例) テーマ「茶の文化」



*** 附属図書館でのグループワーク**

NDCとNDLCを比較してその違いを知り、分類に対する理解を深めてもらうこと、また、早い段階で図書館での実習を取り入れたいということから附属図書館でグループワークを行った。

前回の課題提出時に選択したテーマごとに分かれて座ってもらい、その中の3~4名でグループをつくるように指示し、グループ内で課題を行った。1人しか選択しなかったテーマがあったが、誰かそちらに移ってもらえないかとアナウンスしたところ2人が移ってくれたので無事にグループができた。グループ内では、課題Cについて自由に取り組んでもらい、その後すべてのグループに発表を行ってもらった。基本的には、受講生同士での自主的な話し合いを中心とした。補助者は巡回し、適宜、グループワークが円滑に進められるように、補助や各図書館の分類方法の補足説明等を行った。発表時間は各グループ3~5分とした。発表の際には補助者がホワイトボードに発表の内容を書いていった。

(文責：田中洗司)